



高度な遺伝子検査に基づいて、
子どもたちによりよい診断と笑顔を！

目標金額 300万円 2024年 3月 11日 (月) 9時から 4月 26日 (金) 23時まで

脳腫瘍と闘う子どもたちへ、 遺伝子検査を届ける研究を継続したい！

※本プロジェクトは募集終了日までに目標金額（300万円）に到達した場合のみ、集まった寄付金を受け取ります。
万が一到達しなかった場合には、いただいたご寄付は返金となります。（All-or-Nothing方式）

※本プロジェクトは認定NPO法人がんサポーターネットワーク（CNJ：https://www.cancernet.jp/）のサポートのもとで実施しております。

がんの診断のためには、さまざまな検査が必要です。

がんの診断においては、CTやMRIなどの画像診断や病理組織診断が代表的な検査です。

最近はそれに加えて、一人ひとりのがんの個性を把握して診療に活かすための**遺伝子検査の重要性**が高まっています。

遺伝子検査をとりまく環境は大きく遅れています。

小児脳腫瘍は、1年間に約500人ほど（出典：がん情報サービス）が診断される希少疾患であるにもかかわらず、その中には100種類を超える腫瘍（出典：WHO脳腫瘍分類2021）が含まれており、診断に必要な遺伝子検査の種類が多く、保険承認が追いついていません。

2019年にはがん遺伝子パネル検査が保険承認され、一部の遺伝子検査が保険診療で実施できるようになりました。しかし、2021年より小児脳腫瘍の診断方法に加わった「**メチル化アレイ**」という遺伝子検査は、残念ながら保険診療ではまだ実施できません。遺伝子検査は日々進歩を続けており、技術開発から保険承認までの間に少なからず時間的なラグ「**遺伝子検査ラグ**」が生じます。

遺伝子検査の継続的な研究が、保険適用への近道となります。

遺伝子検査技術の保険承認を待っているだけでは、現場の子どもたちに正しい診断をすることができません。JCCG脳腫瘍委員会では、今後も様々な遺伝子検査技術を中央遺伝子診断に導入し、一日でも早く子どもたちに検査結果を届けるための努力を続けていきます。そのためにも皆さまからのご支援をお願いいたします。



お問い合わせ先：JCCG脳腫瘍委員会 UNmetBT研究

研究代表者：大阪市立総合医療センター 山崎暁

研究事務局：埼玉県立小児医療センター 福岡講平

EMAIL：pedbt-met@googlegroups.com

https://readyfor.jp/projects/unmet-bt2024



ご寄付の方法

「脳腫瘍 遺伝子検査 クラウドファンディング」で検索。または表面のQRコードを読み込んでください。

1

プロジェクトの寄付にすすむ
をクリック



2

希望するコースにチェック
を入れ、個数を選択し
次に進むをクリック



3

はじめて利用する方は新規登録へ
をクリック



4

情報を入力し
メールアドレスで登録
をクリック



5

支払い方法を選択する



6

必要情報を入力

- ★クレジットカードの場合
→カード情報を入力
- ★銀行振込の場合
→画面の案内をお読みください
- ★コンビニ支払いの場合
→画面の案内をお読みいただき、
コンビニの種類を選択

※コンビニ支払いは、ファミリーマート、ローソン、ミニストップのみ対応しています。
寄付金額+システム利用料の合計金額が30万円未満のご寄付でご利用いただけます。



入力したメールアドレス宛にREADYFORからメールが届きます。
受信したメールの本文内にあるURLをタップしてください。

7

ギフトお届け先(住所)を入力し
入力内容の確認画面へ
をクリック



8

入力情報を最終確認し、
寄付を確定する
をクリック



お手続き完了です！



銀行振込・コンビニ支払いの場合
「支援履歴」から返金先情報のご
設定をご確認ください。